資料1

パリポリくんバス新田ルート改善計画案について

【Contents（目次）】

1 パリポリくんバスの評価方法について

2 パリポリくんバス新田ルートの現状について

3 パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

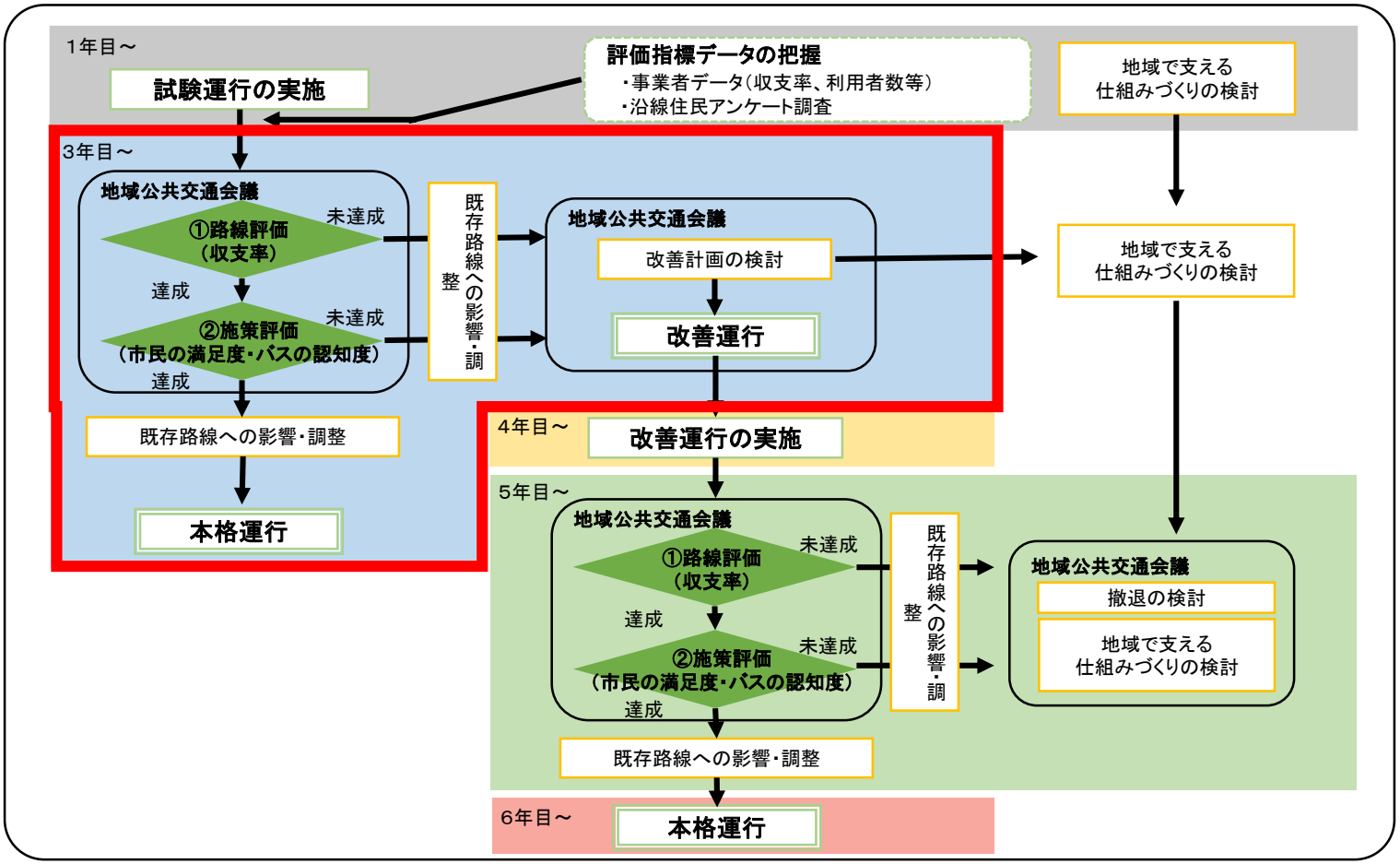
4 今後のスケジュールについて

①パリポリくんバスの評価方法について

草加市公共交通再編計画及び草加市地域公共交通網形成計画において、地域内アクセス路線（コミュニティバス）は5年間の試験運行の中で、収支率や利用者数等を確認の上、その必要性や持続可能性などを公共交通会議で評価することとなっています。

⇒今年度パリポリくんバス新田ルートは運行開始3年目に当たるため、計画に基づき、公共交通会議にて中間の運行評価を実施し、評価結果に応じて対応を講じる必要性があります。

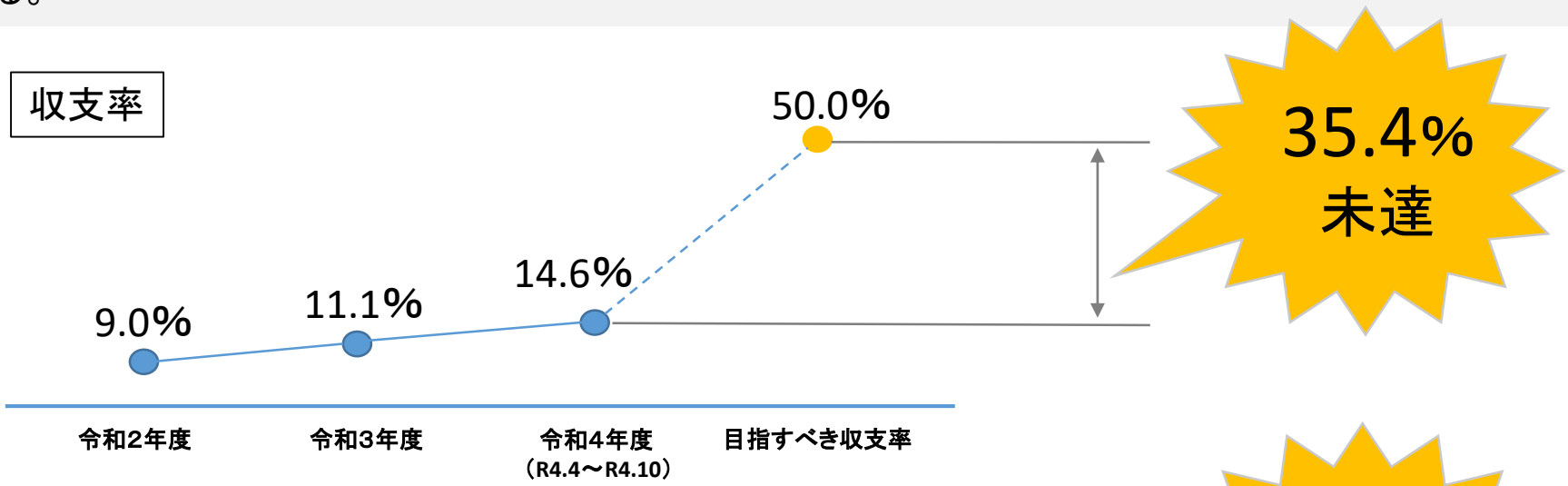
■運行評価の流れ

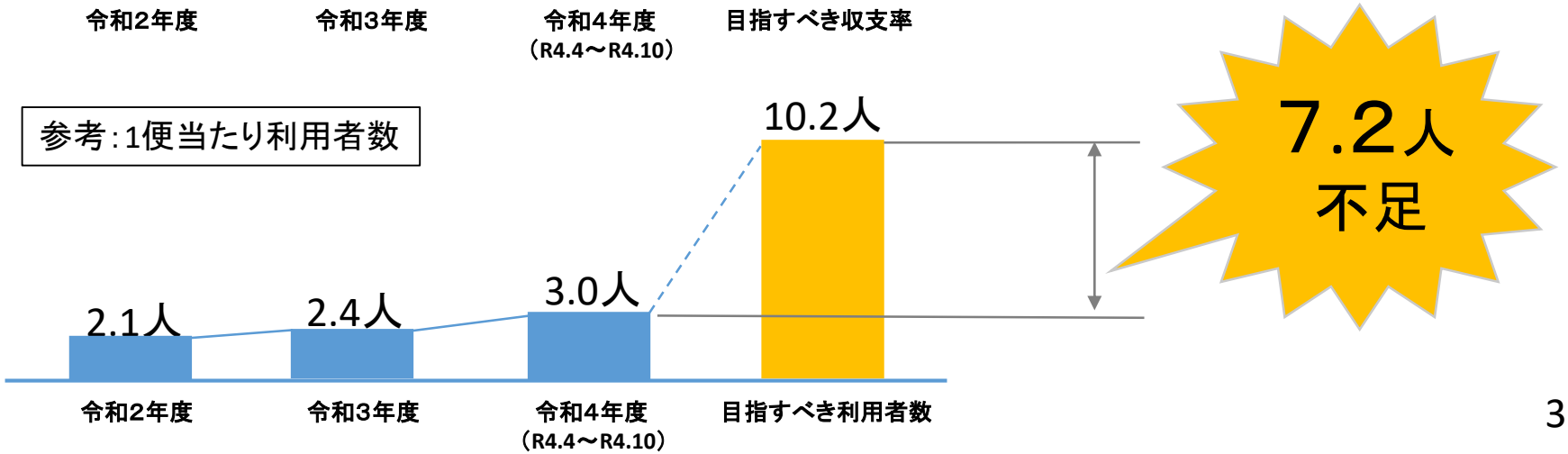


② パリポリくんバス新田ルートの現状について
ｉ）収支率について

・現草加市公共交通再編計画において、路線評価の指標として「収支率50%以上」を掲げている。
・収支率：運行経費を運行収入でどれだけ賄えているかを示すもの。（運行収入／運行経費）

→路線評価の指標である収支率50%を達成するためには、運行経費の半分を収入で賄う必要がある。



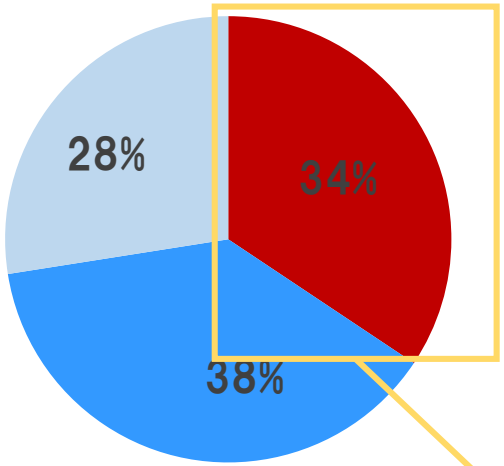


② パリポリくんバス新田ルートの現状について
ⅱ）新田地域アンケート調査について

調査実施時期：令和3年9月～令和4年1月
対象　　：新田西部ブロック町会加入世帯（10,288世帯）
実施方法　　：地元自治会協力のもと回覧形式で全世帯にアンケートを配布・回収
回収部数　　：N=4,926（回収率47.9%）
調査内容　　：新田ルートの課題と改善について

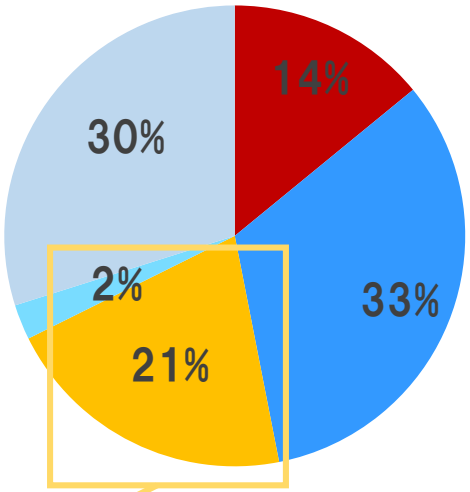
■普段パリポリくんバスを利用する人の意見（477人）

A.所要時間



■所要時間が長い
■所要時間は大きな問題ではない
■あまり関係ない

B.ルートが迂回している



■迂回するべきではない
■迂回は許容できる
■迂回するべきではないが、バス停が家から遠くなったら利用しない
■迂回するべきではなく、バス停が家から遠くなっても利用する
■あまり関係ない

A.所要時間が長いと感じている人が全体の34%
B.バス停が家から遠くなった場合利用しないと答えた人が全体の21%

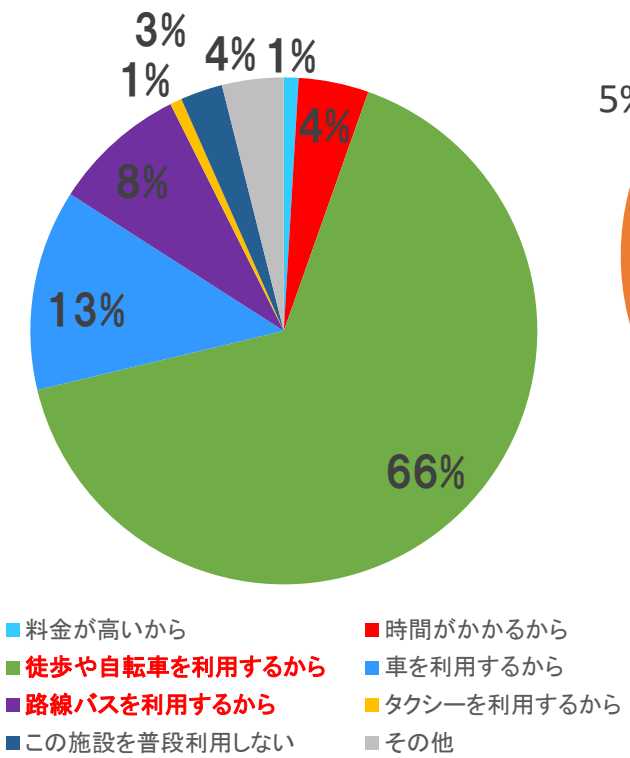
② パリポリくんバス新田ルートの現状について
ii）新田地域アンケート調査について

調査実施時期：令和3年9月～令和4年1月
対象　　：新田西部ブロック町会加入世帯（10,288世帯）
実施方法　　：地元自治会協力のもと回覧形式で全世帯にアンケートを配布・回収
回収部数　　：N=4,926（回収率47.9%）
調査内容　　：新田ルートの課題と改善について

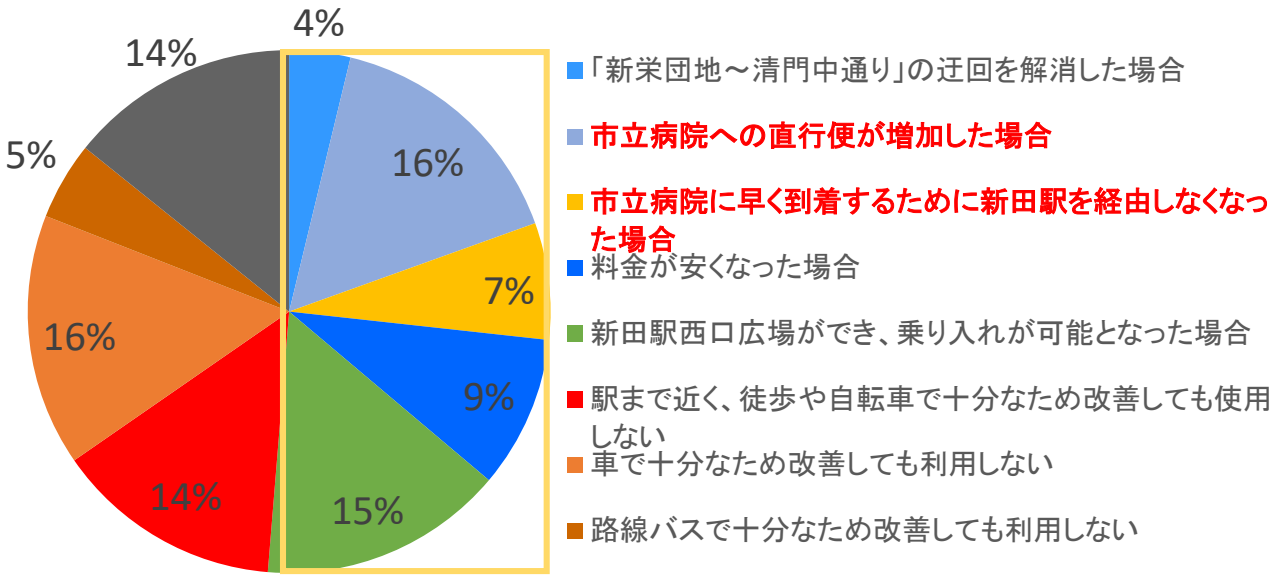
■普段パリポリくんバスを利用しない人の意見（4364人）

・なぜ利用しないのか？

・駅へ行く時



・どのように改善したら利用するか？



・グラフ右半分の約50%→何らかの方法で改善すれば利用すると回答
・その中でも、「市立病院までの直行便が増加した場合」「新田駅を経由しなくなった場合」の計23%が、今後利用する意見として挙がっている。

② パリポリくんバス新田ルートの現状について
ⅲ）まとめ

現状から

収支率：路線評価の指標である収支率50％以上を未達成。
→利用状況の改善を目指し、「①運行評価の流れ」に基づき、改善計画の検討を行う。

改善計画の方向性

■アンケート調査結果より

・路線バスを優先して利用する人が一定数いる。
→路線バスの方がより短時間でアクセスできる手段として既に確立されており、役割のすみ分けが必要。

・パリポリくんバス利用者の意見として、「所要時間が長い」「バス停が家から遠くなったら利用しない」という意見が一定数ある。
→利用者にとって、目的地までの所要時間は、バスを利用するうえでの重要な判断基準になる。

・パリポリくんバス利用しない人の意見として、どう改善したら乗るか？
→「市立病院へ早く着くため新田駅を経由しない」、「市立病院への直行便が増加した場合」　等
→所要時間短縮を望む意見が一定数ある。

・駅へ向かう際は、徒歩や自転車の手段を使う人が多い。
→国道4号線より東側の地域では、パリポリくんバスの需要はそれほど大きくない。

このことを踏まえ、既存のルートを変更する方法で、改善を目指していく。
以下３点を満たす案で決定したい。
①路線バスとは役割を分担し、競合を避けて運行できる。
②所要時間の短縮を実現できる。
③既存のバス停を可能な限り維持する。

③パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

【改善計画案①】（第2回草加市地域公共交通会議にて提示）

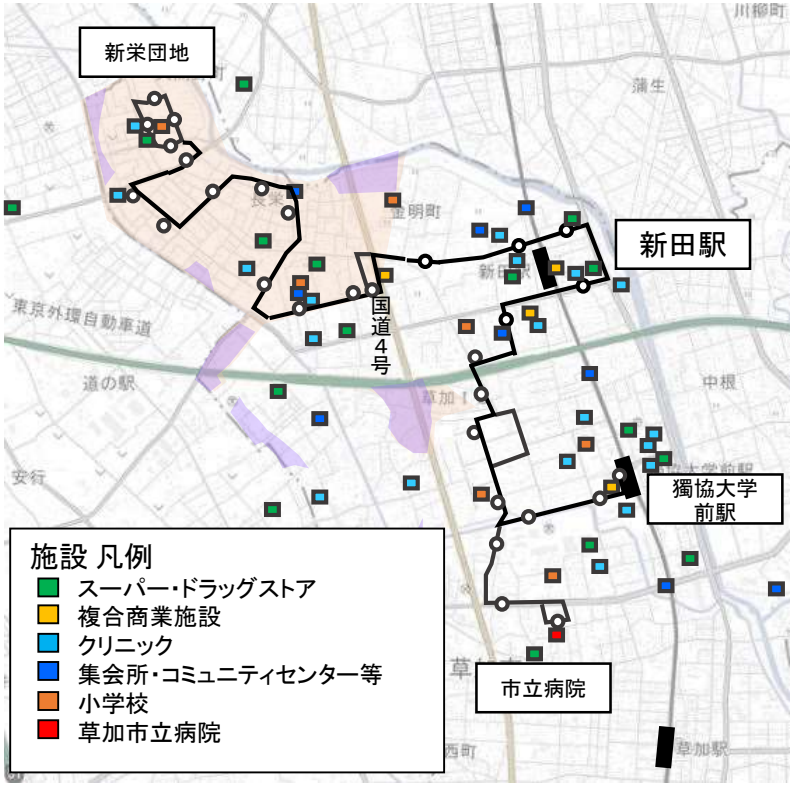
⑴ルート概要　現行バス停を利用し、新栄団地から市立病院までの所要時間を最短化した改善案
（起点）新栄団地ー（終点）草加市立病院
（起点）草加市立病院ー（経由）獨協大学前駅西口ー（経由）新田駅東口ー（終点）新栄団地

⑵目的　バス停位置を変えず、市立病院までの所要時間短縮・路線バスとの役割分担を図る

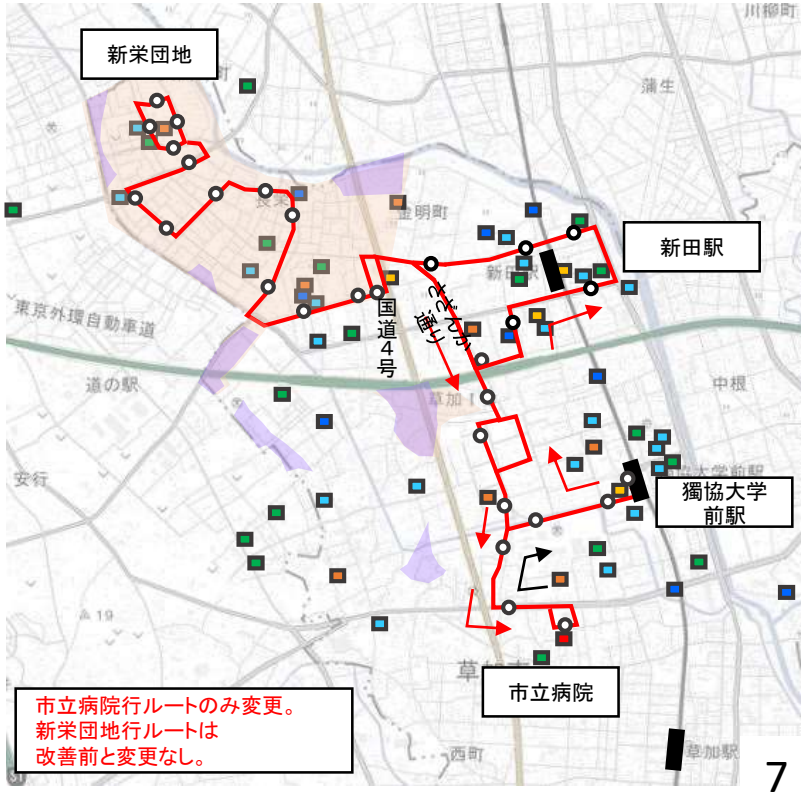
⑶路線延長　２０．４キロメートル（現行：21.57キロメートル）

⑷所要時間　新栄団地→草加市立病院：32分　草加市立病院→（駅経由）→新栄団地：55分

■現行ルート



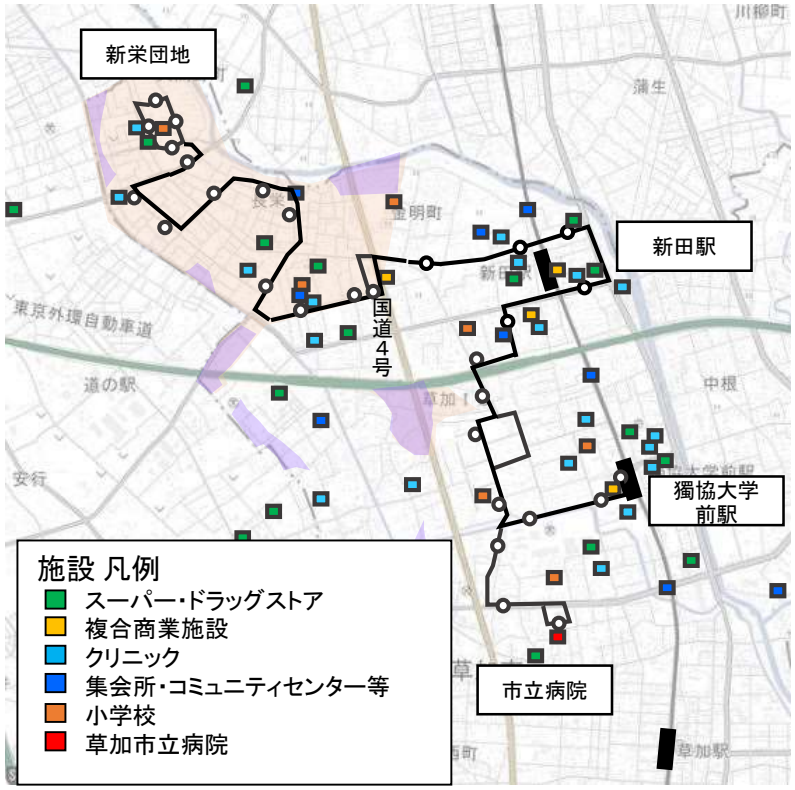
■改善ルート案①



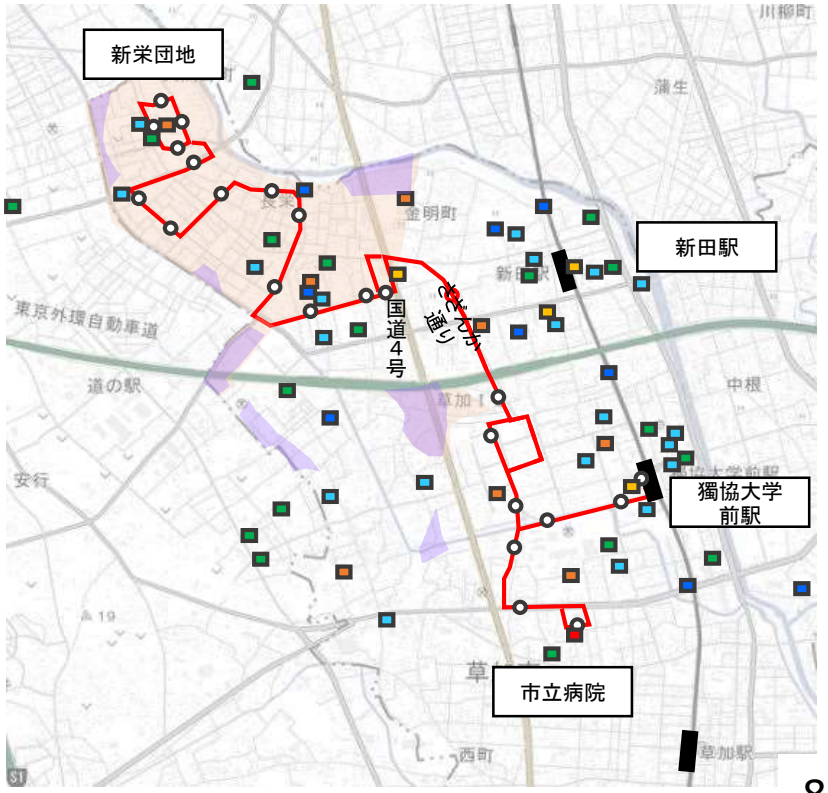
③パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

【改善計画案②】（第2回草加市地域公共交通会議にて提示）
⑴ルート概要　草加市立病院から新栄団地までの所要時間を短縮した改善案
（起点）草加市立病院ー（経由）獨協大学前駅西口ー（終点）新栄団地
⑵目的　市立病院までの所要時間の短縮・路線バスとの役割分担を図る
⑶路線延長　18.4キロメートル（現行：21.57キロメートル）
⑷所要時間　草加市立病院→新栄団地　40分（現行：55分）

■現行ルート

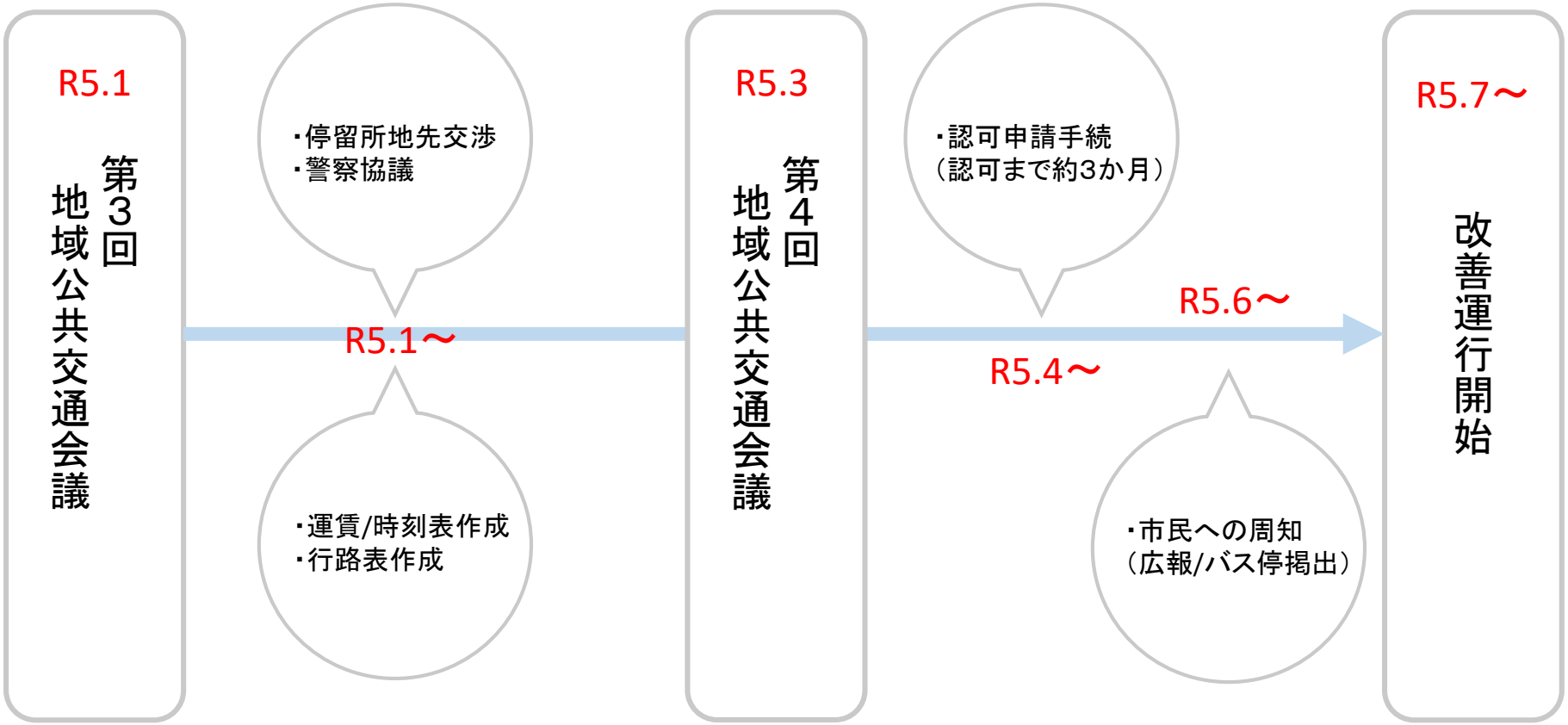


■改善ルート案②



③パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

【各改善計画案の特徴】

	案①	案②
経由地域	・新栄団地→市立病院 ・市立病院→獨協大学前駅→新田駅→新栄団地	新栄団地⇔獨協大学前駅⇔市立病院
利点	・市立病院行における所要時間の短縮（55分→32分） （新栄団地行は現行と変更なし）	・所要時間の短縮（55分→40分）
懸念点	・市立病院行と新栄団地行で経路が異なる。	・新田駅周辺を通らなくなる。 ・新規バス停設置の交渉の必要がある。
路線バスとの役割分担	× 新田駅を経由しており、現状と同様、役割が重複	○ 新田駅周辺は通らなくなり、駅への需要は路線バスに一任する。
所要時間の短縮	○	○

④今後のスケジュールについて